

# 平成27年度第1回千葉市市民参加協働推進会議 議事録

## 1 日時

平成27年8月31日（月） 14:00～16:00

## 2 開催場所

千葉市中央コミュニティセンター8階 千鳥・海鷗

## 3 出席者

- （委員）福川会長、井上副会長、東委員、粉川委員、小松委員、中村委員、山本俊子委員、山本佳美委員、金田委員、小柳委員  
（事務局）原市民自治推進部長、潮見市民自治推進課長、齋木市民自治推進課課長補佐、吉岡主査、竹田主査、田近主任主事、鈴木主事、橋本主事、島村

## 4 議題等

### （1）議題

- ・平成26年度千葉市市民参加・協働実施状況について

### （2）報告事項

- ・（仮称）私のまちづくり条例について
- ・地域運営委員会について
- ・協働事業提案制度について

## 5 議事の概要

### （1）平成26年度千葉市市民参加・協働実施状況について

事務局から、「平成26年度千葉市市民参加・協働実施状況（案）」の概要について説明。審議の後、承認を得た。

### （2）（仮称）私のまちづくり条例について

事務局から、「（仮称）私のまちづくり条例」の検討状況について説明した。

### （3）地域運営委員会について

事務局から、「地域運営委員会」の取組状況について説明した。

### （4）協働事業提案制度について

事務局から、「協働事業提案制度」の実施状況について説明した。

## 6 会議経過

### ○福川会長

本日の議題である「平成26年度千葉市市民参加・協働実施状況（案）」について説明願う。

### ○潮見課長

以下の資料により説明。

- ・資料1-1「平成26年度千葉市市民参加・協働実施状況（案）の概要」
- ・資料1-2「平成26年度千葉市市民参加・協働実施状況（案）」

### ○金田委員

実施状況P.10の2「こども・若者の選挙運営」、6「いなげ若者選挙プロジェクト2015～みんなでVOTE!!」、P.24の11「こどものまちCBT」など共通項目間のつながりはあるのか。

### ○潮見課長

同じ子供・選挙関連の取組みであっても、各所管課・区が必要に応じて実施している。例えば、6については、稲毛区の大学が多いという特徴を活かした取り組みである。

### ○粉川委員

実施状況の見せ方について、各項目に事業の詳細が掲載されているホームページのURLを埋め込むと良い。また、参加協働の件数や参加者数などの数値データをプロモーション的に使うのはどうか。

### ○潮見課長

平成25年度の実施状況から、協働について、事業の詳細が掲載されているホームページがある場合には、そのURLを掲載している。実施状況の見せ方については工夫したい。

### ○井上副会長

市民の意識がどのように変化しているかが見えるといい。

### ○山本佳美委員

P.62の8の「夜間講座「オープンガバメントと市民が行動する新しいまちづくり」」は条例に関連して職員向けに開催したとのことだが、市民向けには開催しないのか。

### ○潮見課長

ワークショップ等を通じて市民にも伝えていきたいと考えている。詳細は、この後の報告事項の中で説明する。

### ○福川会長

実施状況については、せっかく作成しているので活かしていくべきだと感じる。それでは、実施状況については承認でよろしいか。

(一同承認)

続いて報告事項1「(仮称)私のまちづくり条例について」について説明願う。

○潮見課長

以下の資料により説明。

- ・資料2「(仮称)私のまちづくり条例の検討」

○井上委員

今までの参加協働とまちづくり条例との関係はどうか。

○潮見課長

現行の実施状況においては、参加協働共に行政が事業に関わっていることが前提となっており、市民が自立した活動は対象から外れてしまう。良くなっている活動が該当しないという意味では、参加協働の中で整理することに限界があるのだと感じている。

○福川会長

今の条例をまちづくり条例に統合するということか。

○潮見課長

そのように考えている。

○東委員

インターネットモニターアンケートは、元々意識が高い人が登録しており、このアンケート結果は意識の高い人の総意ではないかと感じる。

○潮見課長

意識の高い人の意見だと思う。ただ、ワークショップの案内アンケートの結果も同じ傾向が見られたため、まちづくりに対する意識の高さは全体として感じられると思う。

○東委員

ワークショップの実施曜日について、平日に動ける人の方が地域活動に積極的で、フットワークが軽い印象があるが、なぜ土曜開催としたのか。

○潮見課長

平日開催の場合は参加者が高齢者に偏る印象がある。また、平日の夜開催の場合は都内勤務者の参加が厳しくなってしまうと考え、土曜開催とした。

○東委員

年齢が低めの参加者はいるか。

○潮見課長

一番若くて18歳、20～30代の参加者もいる。

○東委員

条例に関して言えば、地域でできることは地域で解決いただくことは望ましいことと考える。一方で、地域ごとに課題は異なっており、県営住宅が多い地域など市民だけでは課題解決が困難な場合もあるので、場合によっては行政側のサポートも必要になる。

○福川会長

小柳委員は、ワークショップに参加しての感想は。

○小柳委員

1回目の参加者は、そもそも市民参加協働が分からない人がいたが、2回目は、そのような人の参加は減り、意識が高い人が残った印象がある。有意義な議論ができた。

○粉川委員

市民ワークショップの参加者は24名ということだが、見込人数は何人位だったのか。

○潮見課長

30名が目標だった。

○粉川委員

24名では少ないと感じる。もう少し、参加者の募集方法に工夫が必要だった。

恐らく、ワークショップの案内が届いた際に、どんなことをするのかインターネットで検索したのではないか。しかし、現状では、「私のまちづくり条例」について検索してもほとんど情報が出てこないため、参加を躊躇した方も多かったのではないかと感じる。

もう一点、アンケート結果を見ると、「市から協力を求められれば対応する」という人が多い傾向がある。このように、背中を押してほしい人をちゃんと押してあげる仕組みが必要だと思う。

○潮見課長

もう少し意見を聞きたいと考え、大ワークショップの開催を検討した。ワークショップの参加者にファシリテーターを担当してもらおうと思っている。

○小松委員

大ワークショップは面白そうだと感じた。

鎌倉に面白法人カヤックという団体があるが、ブレストであれがやりたい、これがやりたいといろんな意見を言い合って、それが次に繋がっている。

大ワークショップもまずは楽しく意見を言い合えるような会にして、次につながればいいと思う。

アンケート結果については、地域活動に参加したい人と機会があれば参加したい人の属性（年齢、性別、住所など）を徹底的に分析し、本当に参加したい人を取り込んでいくことが重要。

○山本佳美委員

ワークショップ参加者の年齢や性別、居住区は。

○潮見課長

年齢と性別は、18～29歳は男3女1、30代は男2女1、40代は男2女2、50代は男2女4、60代は男6女3、居住区は、中央4、花見川5、稲毛0、若葉6、緑5、美浜4であった。

○山本佳美委員

地域の中心となる人をどのように集めるかが重要。子供の参画を含め、様々な年齢層に声掛けを行い、偏らないように気を付けてほしい。

まちづくり条例と区との関係性はどのように考えているか。

○潮見課長

ワークショップ参加者は一般的に年齢層が高めの傾向があるが、今回はなるべく若年層の意見を取り入れるなど、様々な世代の意見を取り入れたいと考えている。

また、区との関係性は非常に重要であり、区の地域づくり支援室と連携して検討を進めていきたいと考えている。

○井上副会長

通常、小さい子供を持つ女性は参加することが難しいので、インターネットやブログなどで意見交換を行うなど、誰でも参加できる工夫が必要。また、ワークショップの参加者が周りに情報を伝えるなど広告塔になってもらう。市民が広げるという発想が重要。

○中村委員

ワークショップの日程だが、1回目だけ市で決めて、2回目以降は参加者同士で決めてもらうのはどうか。自分たちで決めれば責任感も生まれると思う。

大ワークショップは二回とも同じメンバーが出席するのか。

○潮見課長

詳細はまだ決めていない。

○中村委員

2回目は曜日や会場を変えるのもいいと思う。

○山本佳美委員

親子参加を可能にするなど、参加の形態に自由度を与えてほしい。

○中村委員

昨日の防災訓練に子供連れの参加者がいたが、せっかく参加しているのだから、子供に向けて何か伝えられるのではと感じた。

ワークショップにも子供が参加するのであれば、子供を集めてワークショップを開催するのもいいのではないか。

○小柳委員

子供の参加には賛成。子供と年配の方との交流の機会にもなる。小さい子供向けには託児サービスがあればいいと思う。

○山本俊子委員

先日、市民活動支援センターで子育てセミナーを開催したが、子供の参加もあり、しっかりと発言していた。

○井上副会長

特に父親は子供と触れ合う機会が少ないので良い機会となる。

○東委員

ワークショップへの参加は無償なのか。

○潮見課長

今まで実施したワークショップでは500円分のクオカードを配布した。

○山本俊子委員

アンケートの回答について、総論としての意見なのか、回答者個人の意見なのかが気になる。行動を伴うものでなければ意味がないと思う。

○福川会長

報告事項1については以上。

続いて、報告事項2「地域運営委員会について」説明願う。

○潮見課長

以下の資料により説明。

- ・資料3「地域運営委員会の取組状況」

○福川会長

全体でどれくらい設立されているのか。

○潮見課長

全体で50地区位あり、準備会を含めて10地区設立されている。

○福川会長

自治体内分権の良い例だと思う。

○粉川委員

藤沢市では、ドキュメンタリービデオを作成してPRしている。千葉市でもこのようなPRができればいい。

○齋木課長補佐

若葉区ではPRビデオを作成した実績がある。

○福川会長

この制度は条例の柱になるものだと思う。

○福川会長

報告事項2については以上。

続いて、報告事項3「協働事業提案制度について」説明願う。

○潮見課長

以下の資料により説明。

- ・資料4「協働事業提案制度の実施状況」

○金田委員

エーザイ株式会社との協働事業に興味があり、ホームページを調べたが、概要しか掲載されていなかった。現在どのような活動をしているのかが分かるよう、進捗状況を掲載してほしい。

○潮見課長

対応したい。

○山本佳美委員

単年度の実施状況を報告して終わってしまうのが一般的だが、できれば継続的にPRしてほしい。

○小松委員

地域の課題や解決するための活動や取組みを映像で共有できるといい。千葉市の強みでもあるICTを活用して、面白おかしく周知してほしい。

○福川会長

本日予定されている議題・報告事項はこれで以上。

○齋木課長補佐

次回の会議日程について説明（平成28年3月末頃を予定）

（閉会）